算数オンライン塾 10 月 1 日の問題　解説

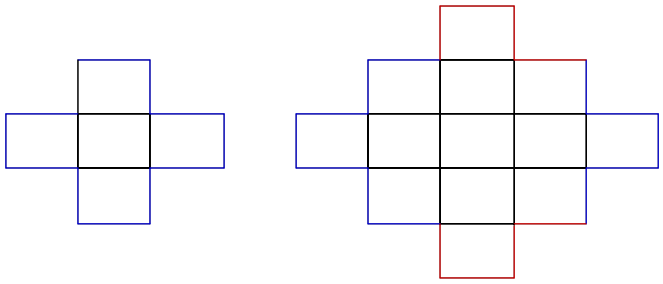
（解説）

（1）真ん中の段は1、3、5、7･･･と奇数列で増えていきます。

周りの長さの中でたての本数と横の本数に注目すると

	1番目	2番目	3番目	4番目
たての数	2	6	10	14
横の数	2	6	10	14

のようになり、4 本ずつ増えています。これは下の図のように上の段にたて２本、よこ２本、下の段にも同じ数だけ増えるからです。



1 番目の合計は（3＋4）×2＝１４cm、２番目の合計は（3＋4）×6＝４２cm と、28cm ずつ増えますから、（266－14）÷28＋1＝10 番目です。

１＋2×（10－１）＝19 個、真ん中の段に長方形があります。

（答え）19 個

（2）真ん中の段に 41 枚あるとき、一番上は１ですから（41－１）÷２＋１＝21 ですから、真ん中の段を入れず、その上に 20 段、その下に 20 段あることになります。

上には（1＋39）×20÷2＝400、下にも 400 あるので 400×2＋41＝841 個の長方形があります。

したがって図形の面積は３×４×841＝10092cm^2

（答え）10092cm^2